



2023年11月15日

各位

会社名 株式会社 S H O E I
代表者名 代表取締役社長 石田 健一郎
(コード番号:7839、東証プライム市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 山口 裕士
TEL 03-5688-5160(代表)

2023年9月期通期業績予想(連結)と実績との差異及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2023年7月28日付「2023年9月期通期業績予想(連結・個別)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました2023年9月期(2022年10月1日～2023年9月30日)の通期業績予想(連結)と実績との差異及び期末配当予想の修正について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異

2023年9月期通期連結業績予想と実績との差異(2022年10月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 33,980	百万円 11,440	百万円 11,470	百万円 8,210	円 銭 153.11
今回発表実績(B)	33,616	9,825	9,858	7,068	131.73
増減額(B-A)	△363	△1,614	△1,611	△1,141	
増減率(%)	△1.1	△14.1	△14.1	△13.9	
(ご参考) 前期実績(2022年9月期)	28,953	8,382	8,503	6,018	112.18

【差異の理由】

2023年9月期の業績につきましては、欧州市場において、コロナ禍で高まった二輪乗用車ブームの減速や天候不順による需要減退が下半期において顕著となる一方、親会社からの仕入れは減速することなく予定通り行われました。加えて、第4四半期において、欧州旧規格品の市場での販売期限が特に設けられないと判明したため、旧規格品の処分売りを積極的に行わないと経営判断したことから、欧州子会社におけるヘルメットやパーツの在庫が予想以上に増加しました。これにより未実現利益の算出対象となる子会社在庫量が大きく増加したこと、及び未実現利益算出に使用する為替や利益率が同利益を押し上げる方向に進んだことから、未実現利益の消去額が業績予想の見積もり額を大幅に上回って着地致しました。また、原材料などの費用も業績予想を上回りました。さらに、新規に導入した連結決算システムと予算関連システムの連携が結果的に不十分だったため、連結消去等の見積もり額と実績に差異が生じました。なお、このシステム間の問題につきましては、正しく連携されるように修正済でございます。

2. 期末配当予想の修正

	年間配当金(円)		
	第 2 四 半 期 末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想	—	76 円 00 銭	76 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	—	66 円 00 銭	66 円 00 銭
当 期 実 績	0 円 00 銭	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年9月期)	0 円 00 銭	112 円 00 銭 (56 円 00 銭※)	112 円 00 銭 (56 円 00 銭※)

(注) 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年9月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。(※)内金額につきましては、2022年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たりの配当金の額を記載しております。

【修正理由】

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題として位置付けており、連結配当性向50%を目途とした「業績に対応した成果の配分」を行うこと、また、資本効率の向上や株主還元の充実を図るため、経営環境の変化に対応して機動的に資本政策を遂行することを基本方針としております。

2023年9月期の期末配当金につきましては、前回発表予想を1株当たり76円とさせて頂いておりましたが、当期の決算実績を勘案し、1株につき66円とさせていただきたく存じます。本件につきましては、2023年12月22日開催予定の当社第67期定時株主総会に付議する予定であります。

なお、別途、2023年11月15日付で公表しております「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」もご参照頂けますと幸いです。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以 上